

事業活動実績報告書

施設名	葛飾白百合幼稚園		
教育理念	一人ひとりが尊重される環境の中で さまざまな体験とする		
1 事業名	命を守る運動ーケガをしない為の転び方(運動)		
2 実施期間	令和7年4月11日 ~ 令和8年3月16日		
3 取組概要	(取組日) 令和7年4月11日 ~ 令和7年4月25日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること (年少・年中) 整列(集まる・前ならえ・模倣・ジャンプ) 模倣運動・リズム運動 (年長) 鉄棒・リズムジャンプ・マット前転 (クーパー) (前転) ↳ 前回り・補助並上り  (取組日) 令和7年5月12日 ~ 令和7年5月26日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること (年少・年中) 整列(集まる・前ならえ・模倣・ジャンプ) 模倣運動・リズム運動 (年長) ボール運動・大型鉄棒・マット運動 組体操・個々のボール扱い・並上がり練習 一段前転  (取組日) 令和7年6月9日 ~ 令和7年6月23日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること (年少・年中) 集合ゲーム・走る・ミニボール 場所移動・走る・ボール投げゲームスムーズに できるようになる (年長) マット運動・大型鉄棒・組体操 跳び箱(開脚跳び・台上前転)  (取組日) 令和7年7月7日 ~ 令和7年7月14日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること (年少・年中) マット運動 跳び箱・大型鉄棒 鬼ごっこ (ジャンプ) (ぶら下がリ) 泣いている子や中に入れない子には 様子を感じ 無理に参加させない。 (年長) 鉄棒・跳び箱(開脚跳び) 組体操(運動会種目確認) 		

3	取組概要	(取組日) 令和7年8月4日 ~ 令和7年8月8日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること (年長)組体操 種目出来る所までと位置の確認	
		(取組日) 令和7年9月8日 ~ 令和7年9月22日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること (年少・年中) マット運動・跳び箱・鉄棒 ボール (模倣) (ジャンプ) (ぶら下がり) 嫌がる子もなく精神的理解度の成長がみられる (年長)組体操(通し練習・矯正・確認)	
		(取組日) 令和7年10月6日 ~ 令和7年10月20日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること (年少・年中) マット運動・跳び箱・鉄棒・ボール (模倣) (ジャンプ) (鉄棒腕支持) (年長) マット運動(サーキットで練習) 跳び箱(ク・ジャンプ・開脚跳び) 大型鉄棒(ぶら下がり)	
		(取組日) 令和7年11月10日 ~ 令和7年11月17日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること (年少・年中) 縄遊び・大型鉄棒(前回り) 楽しみなから積極的に参加している (年長) マット運動・跳び箱・大型鉄棒 縄跳び(前跳び・後跳び・休めとび) 縄とびの回方を理解できより話しながら進める	
		(取組日) 令和7年12月1日 ~ 令和7年12月8日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること (年少・年中) 縄跳び・持久走・鬼ごっこ (歩きとび・走りとび) (年長) 縄跳び・ボール運動 (休みとび・交差とび・二重とび)	
		(取組日) 令和8年1月19日 ~ 令和8年1月26日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること (年少・年中) 縄とび(縄遊び・歩きとび) 長く走る・鬼ごっこ・ゲーム (年長) 走る・縄とび・ボール運動 ドッチボールの説明	

効果検証報告書（継続事業用）

施設名	葛飾白百合幼稚園				
教育理念	一人ひとりが尊重される環境の中でさまざまな体験をする				
事業の区分(5領域)	幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)				
	健康 ◎	人間関係	環境 ◎	言葉	表現 ◎
1 事業名	命を守る運動ーケガをしない為の転び方(運動)				
2 事業概要	日々の遊びや活動、生活の中で「ケガ」をしない転び方や腕や足を折らない為の体作りを中心に運動を身につけていく				
3 対象学級(クラス名) 対象人数	年少(ひよこ・つばき) 年中(星1・星2)年長(月1・月2) (クラス名:)				71 名
計画時 4 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 毎月2回 運動の講師が各クラスに入り 子ども達と一緒に運動活動を行なう				
事業後 4についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 運動を嫌がる子には無理に参加させなくても みんなの様子や運動の様子が感じれば 運動の上達など大きく成長することができた				
計画時 5 事業のねらい	一人ひとりの子ども達が体を動かす喜びや楽しさを 感じながら、腕や足に力をつけ、運動をしながら 力の入れ方やぬき方、体を丸めるなどの動きの 使い方を身につけ、ケガのしない動きや転び方を 体験していく				
事業後 5についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 経験することで、腕の力、足の力など力を入れたり 抜いたりと感覚でわかるようになり必要。 子どもたちがケガをしない運動を身につけていけるようになった。				
計画時 6 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 腕の力、足の力をつける運動→とびあがる・とびこえる 運動→体が逆さまになってもあわてない運動などを 繰り返しする 上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点 「健康」「表現」という面は鬼きをおいて遊びの中で ケガのない日常を目指して発展させてきた				
事業後 6についての 効果・検証	(継続事業のみ記入)前年度の取組から発展させた点 前年度まではマット・鉄棒を中心としていたが、 今年度は鉄棒からとび箱、マット、ボールなどサーキット (ひと通り流して運動する)として行なう 事業実績から推測される効果や改善点等 補助をしながら苦手をこくくし、色々な種目が できるようになることで自信と意欲が増し 運動する事が楽しめるようになった。				

計画時	7 環境構成例	年少・年中・年長の各クラスで30分～40分運動をする。2階の保育室を3クラス広げホールとして運動を行なう鉄棒、マット、とび箱、ボール、縄とびなども使用し、講師、クラス担任等で活動する
	事業後 7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 保育室で滑ってしまったり、お友だちとぶつかってしまう事があるが、慣れと感覚が経験していくことで一人ひとりが注意し、まわりが見えるようになった
計画時	8 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 一人ひとりの子どもたちがのびのびと友達と楽しみながら運動をしていく。その中で腕や足、頭を守る運動を積み重ねていく中で命を守るケガをしない体をつくっていく。
	事業後 8についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 一人ひとりの子ども達が運動の上達を考え、行動し楽しみながらケガのない体をつくっていくことができた。
	9 効果検証総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて 一人ひとりの子ども達が、自分にあった運動の上達、運動の楽しみ方を身につけられ、1年間を通して健康な心と身体、自立心、協同性を身につけ大きく成長できたと思います。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。